

平成 29 年度 野生動物研修会 開催要領

1. 趣 旨

公益社団法人滋賀県獣医師会は獣医学的な見地から、人間と野生動物が共に健康な生活を営むことのできる自然環境づくりに貢献し、社会の健全な発展に資することを目的として研修会を開催しています。

平成 27 年（2015 年）に策定された「生物多様性しが戦略」では、里山の荒廃など、自然への働きかけの縮小による危機が危惧されています。

昨年度は、琵琶湖の森をフィールドに長年に渡り調査・研究を続けてこられた講師をお招きし、『歩いて見た滋賀の生物多様性～びわ湖の森、そこに生きる動植物たちの今～』と題した講演会を琵琶湖博物館で開催しました。

今回、平成 29 年度は、早くから”泳ぐイノシシ”問題に注目されてきた講師をお招きし、平成 29 年度滋賀県獣医師会野生動物研修会一般市民講座を開催します。

2. 主催・共催

主 催 公益社団法人 滋賀県獣医師会
共 催 滋賀県立 琵琶湖博物館
協 力 びわ湖の森の生き物研究会
サンライズ出版株式会社

3. 開催期日

平成 30 年 3 月 25 日（日） 14 時 00 分～16 時 30 分

4. 開催場所

滋賀県立琵琶湖博物館 セミナー室（滋賀県 草津市 下物町）

5. 内 容

「琵琶湖や各地の海を泳ぐイノシシ
～広がる農作物などへの被害～」

6. 講 師

農林水産省農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー
滋賀県イノシシ保護管理検討委員会座長
奈良大学名誉教授

高橋 春成 氏

7. 参集範囲

一般県民ならびに滋賀県獣医師会会員、近隣府県獣医師会会員 約 60 名

8. 参集費

参 加 無 料

琵琶湖や各地の海を

泳ぐイノシシ

～ 拡がる農作物などへの被害～

沖島近くを泳ぐイノシシ
(布施幸子さん・奥村ひとみさん提供)

講師 高橋春成 先生 (奈良大学名誉教授)

開催日時 2018年 3月25日(日) 14:00～16:00 (受付 13:30～)

参加費 無料 事前申込み 不要

講師プロフィール

1952年滋賀県生まれ
現在、IUCN (国際自然保護連合) Wild Pigs Specialist Groupメンバー、農林水産省農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー、滋賀県イノシシ保護管理検討委員会座長、シシ垣ネットワーク代表などを務める。
著書に『イノシシと人間 共に生きる』(編著、古今書院)、『泳ぐイノシシの時代 ―なぜ、イノシシは周辺の島に渡るのか?―』(サンライズ出版) など。

“山の動物” のイメージが強いイノシシが、近年、琵琶湖や各地の海を泳いでいる姿が目撃されています。

多くの島々が連なる瀬戸内海ばかりでなく、滋賀県の琵琶湖でも竹生島や沖島にイノシシが泳いで渡り、イモ類、イネ、果樹、タケノコなどに大きな被害が出ています。また畦畔や道路、水路などを掘り起こしたり、自動車と衝突するといった事態も発生しています。

この背景として耕作放棄地や放置竹林、放置果樹畑の増加で、イノシシの生息地が湖岸や海岸付近に拡大したことがあげられます。湖岸や海岸付近で狩猟や駆除を行った場合、猟犬などに追われたイノシシが湖や海を泳いで島に渡るケースが増えたと考えられます。さらに、食肉生産のために島に持ち込まれたイノシシやイノブタが管理の不行き届きから野生化し、同様に周辺の島に渡っているケースもみられます。

今回の講座では、早くから“泳ぐイノシシ” 問題に注目されてきた高橋先生から、新たなイノシシ観を啓発する必要性と、イノシシの狩猟や駆除、田畑への侵入防止対策における注意点などをお話しいたします。



竹生島近くを泳ぐイノシシ
(北方洋介さん提供)



会場 滋賀県立琵琶湖博物館 セミナー室

JR琵琶湖線草津駅下車、「西口」2番バス乗り場から、
近江鉄道バスからすま半島行き約25分「琵琶湖博物館前」下車。徒歩2分。
滋賀県草津市下物町1091 TEL.077-568-4811

お問い合わせ 公益社団法人滋賀県獣医師会 TEL.077-526-1966